



結び

令和元年度卒 松島 和希

出身

三輪中サッカー部
岐阜市立三輪中学校

『サッカーが好きだから』

・はじめに

皆さんこんにちは。関商工サッカー部卒業生の松島和希です。突然ですが、「球際、連続、切り替え」この言葉に聞き覚えがある人は多いのではないのでしょうか。この文章を見てくださっている皆さんは、渡邊先生、もしくは私から聞いたことがある人もいるのではないのでしょうか。私は現在、北星FCのコーチをしています。サッカー選手、指導者として学んだこと、得たことをここに書かせていただきました。少し長いので覚悟してくださいね（笑）

・高校時代

私は、小学校2年生のころに兄の影響を受け、なんとなくサッカーを始めました。中学でも特に入りたい部活もなく、なんとなくサッカー部に入り、高校では、定員が割れているからという理由で関商工を選び、なんとなくサッカー部に入りました。また、高校時代、サッカー部に入る前に、バレー部と少し迷っていました。はじめにサッカー部、次にバレー部の見学に行く予定でしたが、初めてサッカー部の練習を見た時、活気あるサッカーに心惹かれ、すぐに入部を決意しました。

関商工サッカー部は強豪校と知っていたため、かなり背伸びをした入部でした。実際、私は高校時代、一度もトップチームに入ることができませんでした。セカンドチームにも入ることはありませんでした。朝練習の走りも厳しい、休日に遊ぶこともできない、試合にも出られない。ではなぜ自分はサッカーを続けているのか、と毎日考えていました。それでも続ける理由は、サッカーが好きだから、でした。つらい、厳しい、痛い、帰りたい、

それでもやっぱり私はサッカーが好きでした。それは、サッカーを始めた小学生の頃の私に、サッカーの楽しさを教えてくれたチームメイト、指導者の方々をはじめ、高校までのすべてサッカー関係者のおかげであると強く思います。サッカーを通したすべての出会いに感謝しています。



・ 関商工ブランド

私は総合ビジネス科に在籍し、先生から関商工の伝統、挨拶、卒業生の活躍をよく耳にしていました。地域に愛され、就職に強いのは卒業生のがんばりと伝統があるからと、関商工生であれば、聞いたことがあるのではないのでしょうか。

私は、関商工の練習着を着てグラウンドに行くことがあります。その時に、よくお声をかけていただくことがあります。「関商工サッカー部の〇〇君って知ってる？」 「〇〇先生はいい先生だよな」というようなお声をかけていただきます。関商工の学校のブランド、伝統のみならず、サッカー部にも素晴らしいブランドが構築されており、ここまで多くの方が応援してくださっているのかと思いました。関商工生のあいさつ、マナーに対して地域の信頼があることについて聞いてはいましたが、サッカー部にも強い信頼、そして応援してくださる方々が多く存在していると、指導者になり初めて知ることができました。

現在、関商工サッカー部に所属する皆さん。皆さんには、このように、知らず知らずのサポーターが多く存在します。私自身も、試合結果を毎回見ているサポーターです。学校、部活動中のみならず、すべての場所で、君たちは見られ、応援されています。ぜひこれからも、関商工生として、サッカー部として、素晴らしい挨拶、マナー、サッカーを継続していただきます。



・ 孤独な指導者、審判

さて、私は現在、小学生のころに所属していた北星 FC でコーチをしており、心技体、球際、連続、切り替えをモットーに指導をしています。指導力向上のため、指導者ライセンス C 級にも挑戦中です。ですが、高校サッカー引退後すぐに指導者を始めたわけではなく、少しサッカーから離れていた時期がありました。そんな中、OBとして北星 FC を見に行った時、そこにはサッカーに夢中になっている輝かしい目をした子どもたちがいました。彼らを見てやはりサッカーを続けたいと思い、私は指導者としての道を歩み始めました。



指導者としては、日々の練習、試合、教えることの難しさに、考える毎日です。この練習メニューを続けていいのだろうか、本当にオフサイドを採ってよかったのかと、不安になることもあります。そんな中、ふと感じるのが、指導者、審判には相談できる人が少なく、孤独であることです。一人で大勢の選手の前で話し、小学生の試合の審判は一人で行います。たまに、審判をしていると、選手、指導者、保護者、周りの人全員が敵に感じることもあります。指導者は、選手間、保護者間に比べて、圧倒的に人数が少ないです。指導者同士話し合いをするものの、解決できない問題、対立し合う意見も、少なからずあると思います。周囲の友人に話しても理解を得ることは難しく、一人で抱え込むことが多いのです。

そんな中、選手の皆さん、保護者の皆さんには、少しだけ、ほんの少しだけでいいので、指導者、審判の気持ちも考えてあげてください。自分勝手の発言をしていないだろうか、リスペクトある行動をしているだろうか。ほんの少しだけ考えてください。考えるのはほんの少しでいいのです。その分、精一杯サッカーにチャレンジしてください。精一杯サッカーをしてくれることが、指導者として一番うれしいことであると私は思います。

・トライアンドエラー

指導者として、私は毎日挑戦し、失敗し、修正し、また挑戦します。この練習は効果が薄いな、厳しく叱りすぎたな、今日の采配は良くなかったな、というように、毎日、トライアンドエラーの繰り返しです。失敗は悪いことではありません。トライしたから失敗があります。トライしなければ、何も生まれません。シュートを打つ→外れる、全然 OK です。問題はシュートを打たないことです。シュートを打たなければゴールはありません。大切なのはトライすることです。トライアンドエラーによって力は身につきます。



これは、人生においても同じではないでしょうか。トライして、エラーから学び、次に繋げる。勉強、仕事、スポーツ、家庭。すべてトライアンドエラーです。だから皆さん、どんどんトライしてください。そして失敗しましょう。その失敗から、また次にトライしましょう。トライアンドエラーが、自身の成長になります。

・最後に

私はサッカーを通して大切なことを学び、大切な人たちに出会うことができました。なんとなく始め、なんとなく続けたサッカーが、こんなにも大切なものになりました。すべて、支えてくださった皆さんのおかげです。サッカーを始め、ここまで続けることができたから、様々なことを得ることができました。こんなにもサッカーを好きにさせてくれたチームメイト、指導者の方々、本当に感謝しています。

関商工サッカー部の皆さん、時間は有限です。悔いのないようにサッカーを楽しんでください。私もこれから、サッカーの素晴らしさを伝える立場として、サッカーを楽しみたいと思います。

